No.378

広報 みぶ

2年10月

竜巻 猛威をふるう

安塚を中心に68棟が全半壊

台風19号が９月19日夜から翌朝にかけて、本県の北西部を通過。その直前の19日午後10時20分ごろ、安塚を中心に竜巻が発生し、県内の竜巻被害としては史上最大の災害となりました。

それは突然ごう音とともにやってきました。「ジエット機が墜落してきた」と思った人や「電車が家に飛び込んできた」と思い違った人がいるほどで、一瞬にして長さ３km、幅 200ｍにわたり、被災世帯 212世帯、全半壊68棟、その他納屋や倉庫など多くの被害を出しました。家屋などの被害に比べて負傷者23人にとどまったのが、せめてもの救いでした。

発行 壬生町役場　編集 総務部企画財政課 毎月15日発行　〒321-02栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号☎0282-82-1234～6

乱れくるう竜巻

安塚を中心に大被害

― 竜巻対策本部を設置し、対応に努める ―

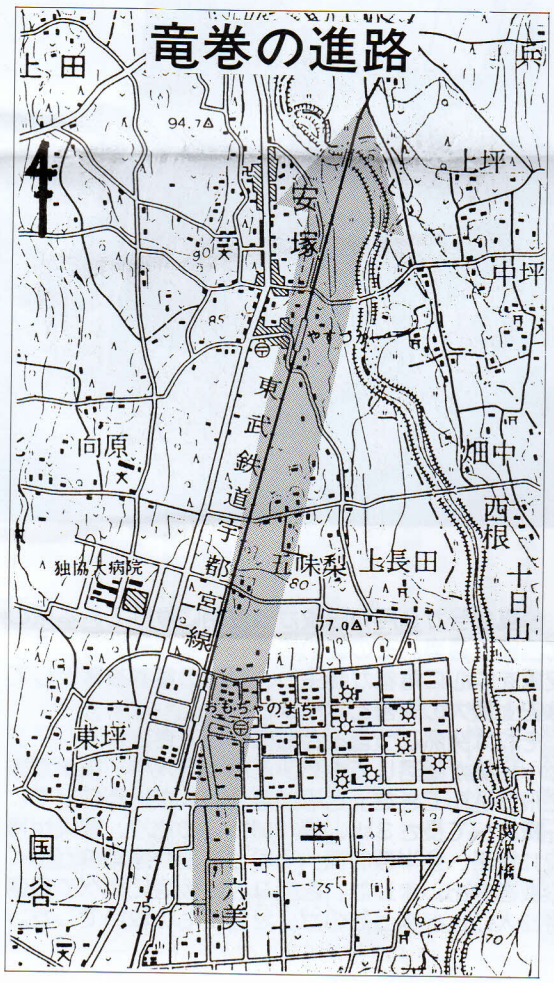
九月十九日の午後十時二〇分ごろ、六美町から幸町及び安塚にかけて発生した竜巻災害は、長さ三キロ、幅二百㍍に達し、住宅の被災総数二一八棟、負傷者二三人をはじめ農作物などにも大きな被害を出し、被害総額は約十二億円にのぼるとみられます。

町では、翌朝午前二時に勤労青少年ホームに「安塚地区竜巻災害対策本部」を設置し、被害状況の把握と対応策に努めました。

また、二十日には町消防団の応援を受けて復旧作業が行われたのをはじめ、二十一日、二十二日、二十三日、そして二十六日には町職員と町建設業協同組合、農協、商工会の協力により、大がかりな復旧作業を行いました。

この間、同本部には多くの方々より、義援金や援助物資が届くなど、心温まるご支援をいただきました。

町では、被災された方々への援護措置として、被災世帯に対し見舞金の給付をはじめ災害援護の貸付や住宅関係の復興資金貸付に対する利子補給、農業用施設及び中小企業者に対する利子補給、町税の減免等の特別な援護により、一日も早い復興に努めています。



㈠ 住宅の被害

（10月２日現在）

被害程度	被災世帯	被災棟数	世帯員数	備考
小壊	145	150	524	空家1・アパート1・不明1空家（2棟）
全半壊	67	68	227	空家1
合計	212	218	751	

㈡ 住宅以外の被害

被害程度	納屋	車庫	倉庫	店舗	その他	備考
小壊	22	11	18	10	14	
全半壊	36	20	48	2	12	
合計	58	31	66	12	26	

㈢ 塀・門扉等

塀・門・扉等
33

㈣ 自動車等

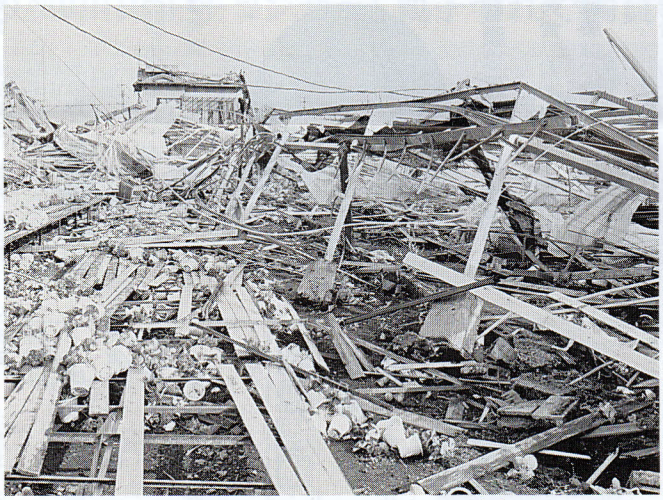
自動車	バイク	自転車
89	2	4

㈤ その他の被害

負傷者	23人
電気停電	170世帯
電話不通	200回線
水道管破裂	2カ所
電柱倒壊	5本
道路不通	6カ所

電柱も倒され、電話が不通になるなど、一時はパニック状態に

屋根がそっくり吹き飛ばされた民家。道路も不通になる



出荷の間近な園芸作物にも大きな被害が

杉の木もバッサリ。まさに鋭い爪跡

復旧作業では建設機械が大活躍

力を合わせて懸命の復旧作業

健康とふくしの祭典
健康ふくしまつり開催

「健康が倍にふくらむ日曜日」「地域に広げよう福祉のこころ」を合言葉に九月十六日、保健福祉センターにおいて、健康と福祉の一大イベント――第五回健康ふくしまつりが盛大に開催されました。

健康ふくしまつりは、町をはじめ保健福祉関係機関からなる実行委員会が主催となって、二五協力団体と十四協賛団体の参加協力を得て行われたもので、年々規模が大きくなり、内容も充実。途中、小雨にもかかわらず、今年もたくさんの人たちが来場されました。

町民一人ひとりの健康と福祉についての理解をよりいっそう深めていただこうと、今回も標語の募集を行いました。町内の小学六年生と中学一年生、一般の方々を対象に募集した結果、応募総数一、一七七点が寄せられ、その中から下記のように最優秀賞六点、優秀賞十二点が選定され、当日、表彰されました。

また、会場では、健康ウオークや健康診査、献血、試食をはじめ、福祉施設の紹介、展示、各種相談、模擬店など盛りだくさんの催し物が取り行われ、楽しく有意義な一日となりました。

健康標語

◇小学の部（六年）

最優秀賞　壬生小　大橋　弥生

「健康管理は
自分自身と検診で」

優秀賞　壬生東小　渡辺　信明

「元気な子
何でも食べる子明るい子」

優秀賞　羽生田小　清水　香折

「ふくらむよ
あなたの夢も健康で」

◇中学の部（一年）

最優秀賞　壬生中　鈴木美智子

「健康は自分自身の心がけ」

優秀賞　南犬飼中　麦倉　恵子

「健康は、自分の幸せ
みんなの幸せ」

優秀賞　南犬飼中　瓦井由香梨

「健康は　明るい笑顔と
思いやり」

◇一般の部

最優秀賞　鹿島　小久保朋之

「健康が　つくるしあわせ
明るい家庭」

優秀賞　至宝北　荻原二三雄

「健康は
明るい家庭の第一歩」

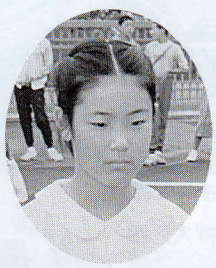
優秀賞　上田　大垣　千代

「定期検診
受けて安心　健康家族」

福祉標語

◇小学の部（六年）

最優秀賞　壬生東小渡辺亜矢子



「育てよう　広げよう
愛の手助け福祉の輪」

優秀賞　壬生東小　大栗　知子

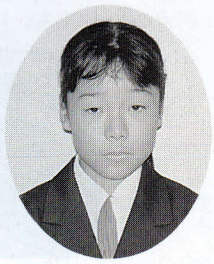
「あなたの優しい一言が
ボランティアへの　第一歩」

優秀賞　睦小　須藤　玲子

「豊かな心思いやり
みんなが育てる　福祉の芽」

◇中学の部（一年）

最優秀賞　南犬飼中長谷川美陽（みはる）



「一人ひとりの思いやり
みんなでつくる明るい社会」

優秀賞　南犬飼中　安納　瞳

「やれること　できること
みんなで協力　福祉の心」

優秀賞　壬生中　池田　淳子

「一人一人が手をとりあって
福祉の輪を広げよう」

◇一般の部

最優秀賞　上通町　塚本　一美

「我が健康
感謝の気持ちで福祉の心」

優秀賞　幸町四　平野　和子

「ちょっとした
心づかいで　豊かな福祉」

優秀賞　緑町三　市井　弘子

「わが家にも地域にも
みんなで育てよう福祉の芽」

初秋の国谷路をたのしくマイペースで歩きました

盲導犬の参加に声援がおくられました

わかりやすいアドバイスで好評の健康診査コーナー

親子づれが目だち、場内は活気がいっぱい

チビッ子に大人気のアンパンマンショー

福祉施設紹介コーナーでは熱心な質問が出ていました

交通ルール守ってね！

交通事故撲滅を願い町民大会開催

第十五回壬生町交通安全町民大会が九月十九日、壬生中央公民館において、県や県警、栃木警察署長、関係団体など、来賓、関係者多数の出席をいただき、盛大に開催されました。

大会は、初めに交通事故犠牲者に黙とうを捧げました。続いて清水町長と稲葉町議会議長の主催者あいさつ、その後、交通安全功労者表彰、ポスター・作文の入賞者表彰、作文発表、来賓あいさつ、花束贈呈をし、最後に大会宣言をして閉幕しました。

それから、壬生中ブラスバンドとともに市街パレードをして、交通安全の意識の高揚を訴えました。

交通安全の高揚を訴え市街をパレード

交通安全ポスター入選

★最優秀賞

稲葉小　一年　早乙女修代
壬生小　二年　出井　陽子
睦　小　三年　渡辺　貴久
睦　小　四年　中川真由美
睦　小　五年　佐藤　由美
睦　小　六年　渡辺　匡紀
壬生中　一年　田中　邦彦

★優秀賞

安塚小　一年　矢倉　祐太
睦　小　〃　毛塚あゆみ
藤井小　〃　山川　真実
安塚小　二年　山崎　里香
壬生小　〃　小野　文恵
睦　小　〃　鈴木　玲子
壬生小　三年　加藤　円
安塚小　〃　西島　千晴
睦　小　〃　中村　綾香
壬生東小四年　矢口　祐児
羽生田小　〃　石川　浩士
壬生小　〃　榆井　健史
壬生北小五年　大垣　朋子
壬生小　〃　軽部　育恵
睦　小　六年　須藤　玲子
睦　小　〃　西村　麻由
壬生小　〃　伊沢　敏浩
壬生中　一年　倉井麻希子
南犬飼中二年　赤羽根恵子
南犬飼中　〃　庭山実紀子

交通安全作文入選

★最優秀賞

壬生東小六年　青木奈津江
南犬飼中三年　熱田　憲子

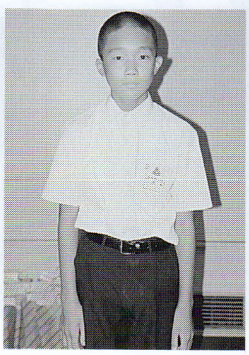
★優秀賞

壬生小　一年　木村枝理香
羽生田小二年　木野内美由起
壬生北小三年　鈴木　淳子
藤井小　四年　手塚　明
稲葉小　五年　阿久津敦子
安塚小　〃　中川　宗栄
睦　小　六年　渡辺　匡紀
壬生中　一年　黒川美由紀
南犬飼中二年　上田　寿美
壬生中　三年　鳥居志緒理

交通安全功労表彰

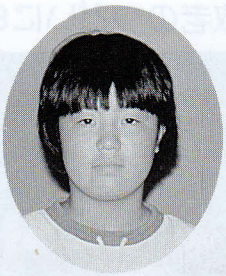
★壬生町総合安全会長並びに壬生町交通安全協会長表彰

小森政雄（上表町）大山正夫（分　町）
三沢英男（分　町）田中恵市（国谷一）
柏崎好一（上長田）晴山　力（上長田）
渡辺正幸（上長田）神永　威（中　央）
稲葉義幸（上　町）三上常次（下　町）
臼井　正（中　泉）野本文子（城　内）
倉井モリ（原　宿）橋本貢子（東下台）
須藤和子（上長田）



交通安全ポスター最優秀賞の写真　右から早乙女修代さん、出井陽子さん、渡辺貴久君、中川真由美さん、佐藤由美さん、渡辺匡紀君、田中邦彦さん。

交通安全作文発表



壬生東小六年
青木奈津江
「気をつけよう交通事故」

最近、交通事故による死亡者、負傷者がふえてきています。事故を防ぐには、一人一人の『気をつけよう』の言葉が大切です。けれども、守るのはなかなか難しいことです。

私も、交通事故に合いそうになった経験が一回あります。買い物に行った帰りでした。交差点のすぐ近くで、私は道路を横切ろうとしました。もう車はこないだろうと思って、二、三歩足を進めたときです。

「キキーッ」

という音でハッとして足を止め、横を見たら車が私の横で急ブレーキをかけていました。私は、ペコッと小さく頭をさげて急いで渡ってしまいました。驚いたので何も言えませんでした。後で考えると、交差点を渡ればよかったと思いました。

それから一年位たって、同じ所で、妹が交通事故に会いました。妹は、近所の子と遊ぼうとして外に出ていきました。近所の子は道路の向こう側の野原から「ねえ、こっちにおいでよ。」と呼んだのでかけ足でいき、あと一メートル位で道路を横断できるところで、走ってきた車にひかれてしまいました。近所の人が急いで家に知らせにきてくれたので祖母、母、姉、私がかけつけると、もう救急車がきていました。妹は道にたおれて右の太ももののところに、車のタイヤのあとがついていました。母がつきそって病院に行きました。私は、何がなんだったのかわからず、あ然と見ていました。周りはやじ馬の人達でいっぱいでした。私はすごく悲しくなりました。とぼとぼ家の中に入っていきました。家の中に入ると、シーンと暗くなっていました。

幸い、妹は軽傷で一週間ほど入院すると、母と帰ってきました。まだ、太ももの所にはタイヤのあとがついていました。今回は、一台の車と一人の少しの事故ですみましたが、何台もの車が続いてきていたら、玉つき事故になっていたかもしれないと考えると、おそろしくなります。

南犬飼中三年
熱田　憲子
「交通安全について」

今、私たちにとって、最も重要な問題は、〝交通安全〟であろう。

昨年、私たちの学校で行われた『交通安全三ない運動』も、交通安全の対策の一つだと思います。【ノーヘルしない、並進しない、無灯火しない】。この運動は、とても効果があったと思う。本校の生徒の一人一人が、自分の生命を守るために心がけ、この二年間、命を落とす、大けがをするといった事故は、ひとつも起こらずに済んだ。これは、すばらしいことだ。しかし、今の世の中は、年々、交通事故によって死亡する人が増えている。自分の不注意でもあろうが、周りの人々の交通マナーが悪いということもある。彼らのために、罪のない人までが巻きぞいにあってしまうのは、あまりにも残酷で、悲しいことだと思う。

栃木県は、全国でも交通事故の発生率が高く、ワースト5に数えられる、ということが新聞でも報じられている。県民の一人として、私は、とても恥ずかしいと感じる。なぜ、県民である大人は、注意しようとしないのか、不思議でたまらない。

自分の命なのに、どうして大切にしないのだろうか。この世にたった一つしかない、他に代わりのない命なのに――。

この間もニュースで、引き逃げ事件について報道されていた。何の罪もない母娘が、トラックのタイヤにはさまれ、運転手は、それを強引にふり払って殺してしまった、というものだ。こんなことは、普通の人間のできることではないはずだ。たった三

（次のページにつづく）

す。

私の祖父は東小の交通指導員をやっています。毎日、毎日行っています。雨の日には、カッパを着て、風の日には、自転車を飛ばされそうにしながらいきます。冬の制服を着る季節になれば、暑いといいながら、冬服を着ています。

「どんな日でも、子供を守るため。」という考えでしっかりと指導してくれます。

横断中に信号が赤になると真ん中あたりにいる子を急いで守り、その時によって、渡したりもどしたりします。白線よりはみ出して横断している子がいると注意します。日本各地で交通指導をしてマナーを守るように努力してくれている人がたくさんいます。

私の妹のようにマナーを守らない人が事故に合います。心から気をつけたいと思います。

歳の幼い命を奪った犯人に対し、私は激しい憤りを感じる。

これは、ほんの一例であって、似たような事件・事故は、しょっ中テレビや新聞をにぎわしているのだ。どうしたら事故をなくすことができるのだろう。防げるのだろうか。

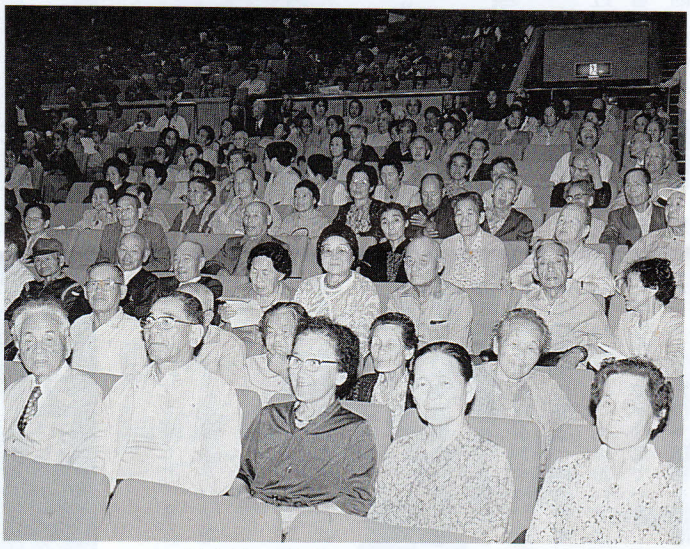
私の住む町の中にも、交通安全を呼びかける看板がたくさん立っている。車を運転する人に見やすいように、いろいろな工夫がなされている。これに対し、もっと多くの人々が協力し、事故をなくす努力をする必要があろう。少しの努力で、たくさんの命を救うことができるはずなのだ。

私たちの学校で行った『三ない運動』のような、交通事故対策を、少しづつでも広めていけたら、と思う。この二年間で学んだ多くのことを、後輩や、地域社会に伝え、そこからさらに、多くの人々に命の大切さを、事故の恐しさを知ってもらう努力をまず、私自身から実行していきたい。

一人でも貴重な命を救うために……。

楽しい一日を過ごす

敬老のつどいに800人が楽しむ



一日中笑いが絶えませんでした。

町内の七十五歳以上のお年寄りを招き、長寿を祝うとともに楽しい一日を過ごしていただこうと九月二十六日、敬老のつどいが壬生中央公民館に約八百人を招いて盛大に開催されました。

式では、清水町長が「町では九十歳以上の方が七十七名、七十歳以上が千八百八名もおられ、お年寄りの皆さんは、これからも長生きしていただき、楽しい人生を過ごしながら町を支援して下さい。町では長寿社会を行政に反映させるよう力を入れていきたい。」とあいさつして長寿を祝いました。

式の後、浪曲や漫才、歌謡曲などが行われ、会場に来られたお年寄りたちは、何もかも忘れて楽しい一日を過ごされました。

助役に福島勝美氏が就任

定例議会で六名が決まる

九月十日の定例町議会において、福島勝美氏（六十歳、総務部長）が助役の選任を受け、同十五日、助役に就任しました。

また、同議会で教育委員、人権擁護委員、固定資産評価審査委員の選任も行われ、次の方々が就任されました。

▽助役

福島　勝美氏

▽教育委員

亀田　和己氏（北小林、再任）

▽人権擁護委員

田辺　武氏
（舟町、再任）

松野　幹氏
（安塚中央、再任）

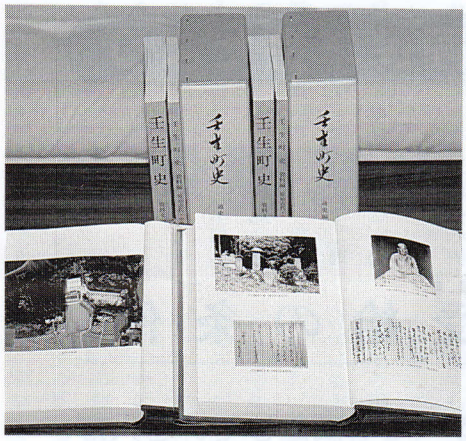
▽固定資産評価審査委員

鯉沼　三典氏
（鹿島、新任）

松本　徳郎氏
（万町、新任）

待望の「町史」が完結！

＝「通史編Ⅰ」好評頒布中＝



「通史編Ⅰ」の刊行により、「壬生町史」全七巻が完結しました。

九年余の歳月をかけ、専門の先生方により温められた「壬生の歴史」の研究成果が書きつづられています。

ぜひこの機会に「壬生町史」全七巻をお買求めになられてはいかがでしょうか。

監修者及び執筆者（敬称略）

監修者　**菊地勇次郎**（東大名誉教授）

専門委員長　**大町　雅美**（作新大学講師）

〈原始古代部会〉

塙　静夫（作新高等部教頭）

大金　宣亮（県文化課係長）

山ノ井清人（作新高等部教諭）

〈中世部会〉

石川　速夫（県社会教育課長）

黒田日出男（東大教授）

千々和　到（東大助教授）

〈近世部会〉

奥田　謙一（烏山高校教頭）

阿部　昭（国士館大助教授）

渡辺　平良（宇都宮高校教諭）

高埜　利彦（学習院大教授）

泉　正人（早大史編纂所員）

〈近現代部会〉

大町　雅美

宮地　正人（東大教授）

〈民俗部会〉

尾島　利雄（県博物館学芸部長）

〈自然編特別寄稿者〉

吉村　光右（馬頭高校教頭）

浜野　義則（真岡高校教諭）

「壬生町史」全7巻

通史編	◇「通史編Ⅰ」	5,000円
	◇「通史編Ⅱ」	5,000円
民俗編	◇「民俗編」	3,000円
資料編	◇「原始古代・中世」	5,000円
	◇「近世」	6,000円
	◇「近現代Ⅰ」	5,200円
	◇「近現代Ⅱ」	5,200円

◎お求めになる方は、町教育委員会社会教育課（☎82－0934）まで。

図書館だより ㊺

ご利用ください リクエスト・サービス

リクエスト・サービス（予約制度）は、皆さんの読みたい本がすぐに利用できないとき（たとえば貸出中や図書館の蔵書にないとき）返却あるいは購入しだい提供するサービスをいいます。

皆さんが読みたい本を「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」提供する、という図書館サービスの目標を実行するためには、欠かせない制度です。

リクエストをいただいた資料のうち、図書館の蔵書にないもののほとんどは、購入により提供しています。

また、値段的に高価な本や内容がかなり専門的な本などは、県立図書館をはじめ、ほかの図書館から借り受け、皆さんにご利用いただいています。

なお、皆さんから寄せられるリクエスト図書の傾向は、その後の図書を購入する際にも、大いに参考にさせていただきます。

リクエストは電話でもお受けしますので、ぜひこの制度をご利用ください。

◎移動図書館

※移動図書館BMゆうがお・みぶをご利用の皆さん。

車に積んでおります図書は、図書館の蔵書のほんの一部です。本館を利用される皆さんと同様のサービスを受けるためにも、ぜひこの制度をご利用下さい。

◎BMゆうがお・みぶ　巡回予定

・11月1日(木)　藤井小学校
・11月2日(金)　壬生東小学校
・11月7日(水)　稲葉小学校
・11月8日(木)　安塚小学校
・11月9日(金)　羽生田小学校
・11月14日(水)　おもちゃの町（幸町一丁目なかた洋品店裏）
・11月15日(木)　壬生北小学校

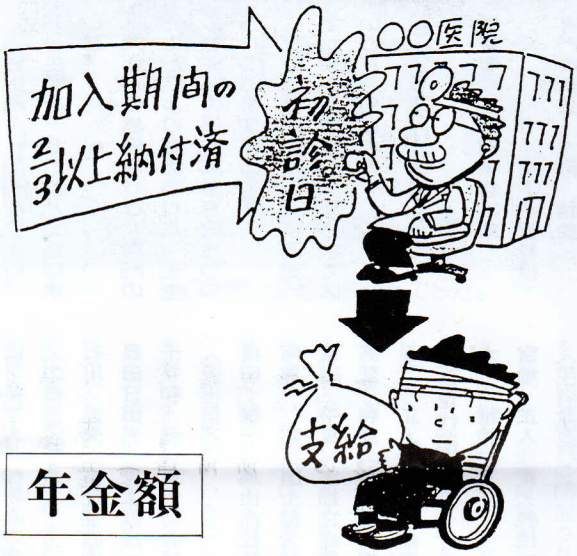
※時間はいずれの場所も午後2時から4時までです。

○「ひばりの会」の皆さんによる　紙芝居と絵本の会
・11月10日(土)　図書館児童室
・午後2時30分～3時30分

被保険者が
障害者になったときに
受けられます

国民年金だより

障害基礎年金



受給の条件

次のすべてを満たしている人が、
障害基礎年金を受けられます

①障害認定日（初診日から１年６か月を経過した日、または症状が固定した日）に、政令で定められた「１級程度」または「２級程度」の障害に該当している。

②初診日に国民年金に加入していること。

③初診日の前々月までに、保険料を納めた期間（免除期間も含む）が、加入期間の３分の２以上ある。

☆なお、平成８年４月１日前に初診日のある障害については、この条件は、満たさなくても、初診日の前々月までの１年間に保険料滞納がなければ、支給されることになっています。

20歳前に障害になった人
➡20歳以後の障害認定日から障害基礎年金が受けられます。

※お問合せは、役場住民課国民年金係までお尋ねください。

年金額

１級障害	年額85万1,600円
２級障害	年額68万1,300円

☆障害年金の受給権者によって生計を維持されている18歳未満（障害児は20歳未満）の子供がいるときは、下記の加算がつきます。

子の加算（年額）	第1子・第2子 各19万6,400円
	第3子以上1人につき 各６万5,500円

家屋調査にご協力ください

●新築、増築、改築
●家屋を取り壊した
場合は滅失届を

平成三年度から課税対象となる家屋（新築など）を調査するため、役場税務課職員が対象となるお宅を訪問します。ご協力をお願いします。

今回調査対象となる家屋は、平成二年一月二日から平成三年一月一日までに完成または完成予定の新築、増築並びに改築された家屋です。

また、家屋を取り壊したり、家屋の用途が変わった場合（例えば旧居宅を物置に利用を変えた時）や土地の現況地目が変わった場合（例えば宅地から資材置場などに変えた時）は、申請書を提出してください。

なお、家屋滅失申請書及び変更届の用紙は、役場税務課、各出張所に用意してあります。

▽問合せ先
役場税務課資産税係
☎(82)1234

保育所(園)の入所(園)のご案内

♡かわいいお子さんに楽しい集団生活の体験を！

来年度の保育所（園）の入所（園）児童を募集いたします。かわいいお子さんを責任を持ってお預かりしますので、入所（園）を希望されるお子さんがいる方は、次により手続をしてください。

第四保育所で九月二十九日行われた交通安全教室の一幕

申込方法

入所申請書に必要事項を記入の上、役場福祉課又は各保育所に提出してください。（入所申請書は、各申込み場所に用意してあります）

申込締切

▽平成二年十二月十日（月）

保育時間

▽午前八時三〇分～午後五時

▽なお、保育時間以外に、延長保育を実施しています。

○保育時間

（朝）午前七時～八時三〇分

（夕）午後五時～七時

（土曜日は除く）

○実施する保育所

●第二保育所

●第四保育所

○保育の条件

状況調査のうえ、延長保育が必要と認めた場合。

○費　用

一般保育料に延長保育相当額（未定）を加算した額になります。

○開始時期

平成三年四月一日

※延長保育事業は、一定数の希望者がいる場合に限り実施します。

保育料

家族全員の町民税又は所得税の合計額によって決定されます。

入所基準

○歳～六歳の就学前のお子さんで、両親及び祖父母が仕事、病気、出産、病人の看護などにより家庭で保育ができない場合や母親がいない場合など、昼間家庭で保育ができないなどの理由があること。

※なお、○歳～一歳児の受け入れは、保育所人数など限られますので、お早めに申し込みください。

また、壬生寺保育園では、来年度から産休明け乳児保育を実施します。

入所選考

入所基準に従って、保育の必要性の高い方から順に入所措置をします。

入所の決定

申請書に基づき調査のうえ、二月下旬に保護者に通知します。

保育所（園）の所在地及び募集人員

保育所(　園)名	所　在　地	電話番号	募集人員
第一保育所	通町16－9	82－0330	64
第二保育所	安塚1179－1	86－0132	20
第三保育所	上稲葉935－1	82－1059	58
第四保育所	駅東町6－23	82－4815	34
第五保育所	助谷1165－3	86－0237	25
壬生寺保育園	大師町11－16	82－0811	20
ありんこ保育園	落合1－14－6	82－3137	17

※ありんこ保育園は、平成３年４月１日から壬生丁75番地１に移転します。

子育て相談にも応じています

子育てに関する相談をお受けしています。子供のしつけ、こと ば、知能などに関することや肥満、アレルギー、偏食など食事に関することなど、お気軽にご相談ください。

相談は、各保育所（園）へ直接おこしくださるか、電話でもお受けします。また、栄養、食事についての相談は、福祉課でお受けしています。

◎お問合せは、役場福祉課児童福祉係へお尋ねください。

町民のひろば

「町民のひろば」はみんなで作るページです。身近なニュースやできごとを紹介しますので、掲載を希望される方はお気軽に町民室（㉜一一三四内線二一五）までご一報ください。

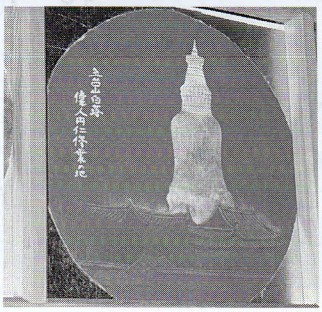
首都圏農業に新風！

壬生花き組合（山野上三郎組合長）では、昨年からスプレー菊の栽培に取り組んでおり、研究の成果が見事に花開いて、現在、菊の出荷が最盛期を迎えています。

これは、同組合が町や県及び農協の指導のもと、平成元年度から農林業近代化施設整備事業として、福和田と羽生田に十一棟のハウスを建設し、十五種類、約二十五万本の菊を生産しているものです。

スプレー菊は周年栽培が可能なうえ、市場価格も安定しているため、従来の基幹作物であるかんぴょうなどに代わる主力作物として、今後、本町の新しい特産物に成長することが見込まれており、市場においても「非常に品質が良い」と高い評価を得ていることから、首都圏園芸農業の確立をめざす、町や県など関係者から熱い期待が寄せられています。

薬師堂天井に水墨画



上通町にある薬師堂の天井に、八月二十一日、慈覚大師が修業を積んだ、中国「五台山白塔」の水墨画が納められました。

これは、小山市の歯科医師、若菜弁三さんが今年の三月に中国を旅行した際、日頃から関心を持たれていた、慈覚大師ゆかりの地である五台山を訪問したことから、遠く唐の時代を忍び、水墨画に描いた見事なもので、本町が「慈覚大師誕生の地」として有名であることから、「龍」や「下野の花」など三十五点といっしょに納められたものです。

若菜さんは、現在、日本画院会員でもあり、水墨画部門で六回入選されるなど、芸術部門におかれても活躍されています。

壬生寺保育園でアスレチックが完成

壬生寺保育園では、東京電力から寄付された古電柱と保育園の納涼祭の益金をもとに、保護者会（中村茂会長）に約十日間の奉仕作業をしていただいて、九月二日、りっぱなアスレチックが完成しました。

子供たちは、待ちに待った完成に、さっそくアスレチックに乗ってはしゃいでいました。

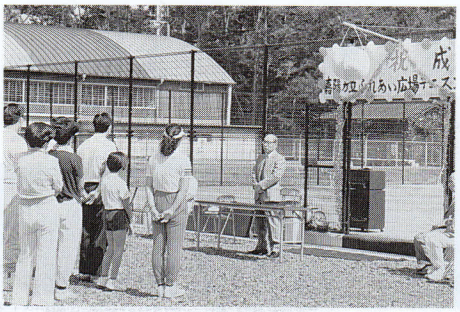
雄琴神社前の踏切が開通

壬生市街と県営壬生住宅及び駅東町団地を結ぶ踏切の拡張工事が終了し、開通式が９月30日、雨の降る中行われました。

この踏切の開通により、車で直接行けるようになって、とても便利になりました。

テニスコートがオープン

嘉陽が丘ふれあい広場に新設



上稲葉の嘉陽が丘ふれあい広場にテニスコート二面が完成し、九月二十三日、同広場において榎本教育長、清水体協副会長らの出席のもと、落成式が行われました。

このコートは、砂入り人工芝が敷かれた立派なもので、集まったテニス愛好者などが、さっそくプレイを楽しみました。

なお、利用申込みについては社会教育課にお問合せ下さい。

渡辺知事が本町を視察

九月十七日、渡辺知事が市町村現地調査のため本町を訪れ、清水町長ら町執行部の案内で、本町の現状を視察されました。

この日は、安塚の和太鼓作りや、おもちゃのまちでは玩具製造のような、そして最後に国谷の運動公園建設予定地を視察されました。

また、嘉陽が丘ふれあい広場において懇談会が行われ、町側から、総合振興計画を柱とする取組状況や、各種施設の建設及び今後の主要事業について説明と協力をお願いしました。

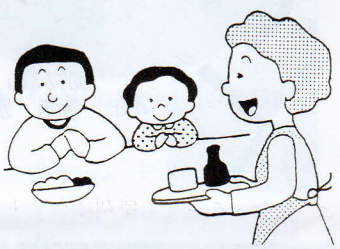
同調査は、昭和六十年にも実施されており、知事は、五年間の人口増をはじめ、発展の著しい本町の姿にしきりに感心されながら、町の開発をはじめ上下水道の整備、区画整理など広範囲にわたって、熱心に懇談が行われました。

9/30川田正子コンサート親子づれで満員御礼

壬生少年少女合唱団も賛助出演しました

食事と健康 ⑱

生体時計



朝、太陽が昇ると同時に目を覚まし
夜、太陽が沈んだら床につく。
日中は、汗を流して仕事をし、
3度3度　きちんと食事をとる。
仕事に疲れたら、ちょっと休憩をとり、
再び汗を流す……
ルソー『自然に返れ』より

壬生町には、今年70歳以上になる方が二、八〇〇人余りいらっしゃいます。そのうち、90歳以上の方は77名です。ご高齢でも家族の方と同じ食事ができて、とてもそんなお歳とは思えないお達者な方が意外と多いのには、驚いてしまいます。

伺ってみると、毎日、規則正しい生活をしていること、何か楽しみ（趣味）を持っていること、また、若いころから体が弱くてあまり無理をしなかったこと……などとお聞きしています。

さて、わたしたちの体の中には、生体時計（体内時計）があって、自然のリズムに即した生活をするようになっているそうです。わたしたちの体は、生まれた時から老化が始まっており、その体をいかに大切に使って長持ちさせるかが、健康に老いるためのカギなのでしょう。

飽食の時代にある現代社会では、ルソーの言うような自然と調和した生活をおくれる人は少ないと思います。しかし、様々な食品が溢れている中から正しい選択をして食べ、摂取したエネルギーを消費するようによく体を動かして、自分にとってベストな体重を管理し、そして、充分な休養をとって疲れをいやすように心がけましょう。そうすることによって、生活の中で自分のリズムを作り出し、自己コントロールして自分の手で健康を守っていきましょう。

お達者カップル

㉕本郷　小倉　謹一さん（80歳）　ツネさん（78歳）

夫婦で選手

九年前からゲートボールを始めた謹一さんとツネさんは、今でも週三回の練習にはかかさず行っているというお元気なご夫婦です。しかも、二人とも現役選手で、謹一さんは審判の三級を持っています。

謹一さんの趣味はもちろんゲートボールですが、以前から盆栽をやっておられ、ゲートボールをしたり、盆栽の手入れをしたりの毎日だそうです。ツネさんもゲートボールが趣味で、その合間に屋敷周りの草むしりをしています。親子三代にわたり三夫婦が同居し、お孫さんも農業を継がれているので、農業の手伝いをすることもなく、悠々自適にくらしている謹一さん夫婦です。

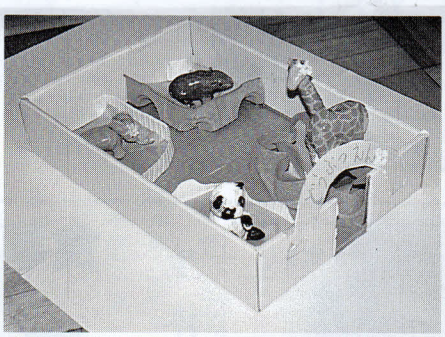
六人のお子さんに恵まれ、十二人のお孫さんと二人のひ孫がいます。

屋敷の西側を東山堀用水が流れ、謹一さんが子供のころまで水車をやっていたそうで、屋号を車といいます。本家も水車をやっていたので、本家の「西の車」に対して、「東の車」と呼ばれていました。「昔は一軒家で、東山堀にはきれいな水が流れていた」と謹一さんは昔を懐かしみながら話していました。

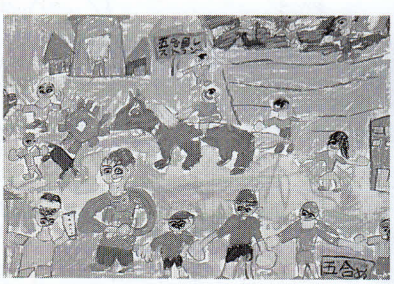
私の作品

―藤井小学校―

三年　湯沢　誠嗣



「動物園」
4年　寺内　宏実



「富士山に登ったよ」2年　和田　大樹

「くもの糸」
6年　湯沢　英明

文芸

文化協会 文芸部選

短歌

草刈りてをれば小綬鶏とびたてり
　巣には卵を四個のこして　　渡辺真夕美

病む父を気づかいをれば朝はやき
　電話のベルに瞬時ひるみぬ　　茂木　富美

根ごと抜け実の成らぬうちと夫は言ひき
　思い出しつつ畑の草取る　　轟　ノリ

野に出でて腹の底より叫ばなん
　届かぬまでも谺して来よ　　角田　節子

俳句

蝉とりの泣いて負はれて戻りけり　　渡辺　寅八

送り火や二人かがみてふたりきり　　高橋　田鶴

にくまれ口利きし幼の昼寝顔　　奥村　トシ

病む妻を寝かせてよりの夜長かな　　宇井　秋汀

私の家族

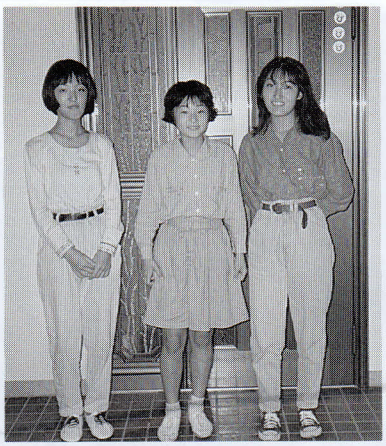
「やさしいお姉ちゃん」

安塚小五年　田村紗夜子

私には、お姉ちゃんが二人います。いつもお姉ちゃんはやさしいです。でも、おこられる時もあります。高校二年のお姉ちゃんは、私に宿題でわからない所を教えてくれるのです。そんなお姉ちゃんが大好きです。遊び相手もしてくれます。高校一年のお姉ちゃんも、やさしいです。私がかぜをひいて休んでいると、帰ってきて

「さえこちゃんだいじょうぶ。」

と言って何か作ってくれます。それは、とてもおいしいです。でも、なんでそんなにやさしいのだろうと思いました。私がまだ小さい時にはよくわからなかったけど、きっと、ずっと前からやさしかったんだろうと思います。そして、これからもやさしいお姉ちゃんとなかよくしていきたいです。



お姉さんといっしょに（本人中央）

「ぼくの家族」

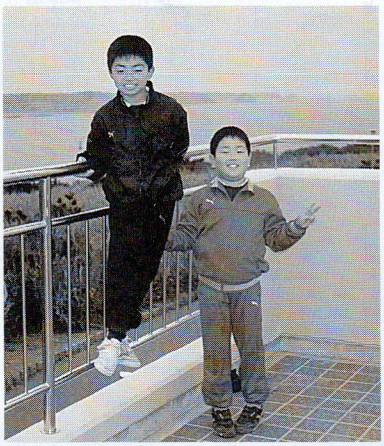
安塚小五年　中川　賢一

ぼくの家族は、四人家族です。父、母、そして四年生の弟です。

父は昼間、友達の会社につとめています。夜は、家で英語の先生をしています。ぼくも、いっしょうけんめい勉強して、留学し、英語が話せるようになりたいと思っています。

母は、家で家事をしています。洗たく、そうじを一人でやっています。時々、お母さんて大変だなと思います。

弟は、四年生です。弟は得意なことが一つあります。それは水泳です。スイミングに週五回もかよっています。ぼくもスイミングにかよっていましたが、サッカーに夢中になっている間にぬかされてしまいました。ちょっとくやしい気がしますが、弟には、水泳をがんばってもらいたいと思います。



仲のよい兄弟です（本人左）

チビッ子アルバム

成司（せいじ）ちゃん（２歳２男）

昭和六十三年十月十七日生まれ
（父）小谷野雅美さん
（母）〃　操さん（星の宮）

お母さんから一言

思いやりのある子になってほしい。

恒行（つねゆき）ちゃん（２歳長男）

昭和六十三年十月十一日生まれ
（父）田中　良夫さん
（母）〃　洋子さん（上稲葉下町）

お母さんから一言

元気にたくましく育ってほしい。

土地の標準価格決まる

平成二年地価調査

栃木県知事から九月二十日、平成二年地価調査の標準価格が次のように公表されました。

これは、国土利用計画法に基づいて、県知事が毎年七月一日を基準日として調査を実施したものです。この価格が民間の土地取引の目安となり、公共事業用地取得の際の基準となります。

町内では、九か所の住宅地、商業地、調整区域の標準価格が公表されました。閲覧を希望される方は、役場企画財政課までおこしください。

◇基準地調査日
平成二年七月一日

◇基準地の価格
単位面積（一㎡）当たり

第二種住居専用地域

○表町一九二八番二
「表町一一番四六号」
四六、九〇〇円

第一種住居専用地域

住居地域

○壬生丁字六美一一七番一七
五六、七〇〇円

○安塚字西南原九二八番三
五三、五〇〇円

○落合一丁目一八番三一
「落合一丁目一八番三五号」
六七、七〇〇円

○安塚字宿内一九二八番
二三、二〇〇円

近隣商業地域

○緑町二丁目一〇二二番一七〇
「緑町二丁目五番六号」
一二六、〇〇〇円

市街化調整区域

○羽生田字前川原二三四六番四
一六、〇〇〇円

○国谷字前畑一九七二番七
一三、七〇〇円

○下稲葉字釜ヶ渕六四番一
一二、四〇〇円

ご寄付ありがとうございました

社会福祉協議会寄付者

金一一、九七六円（計九回）
壬生町商工会青年部様

金二〇〇、〇〇〇円
佐藤勉ゴルフ会様

金五〇、〇〇〇円
日本難病を救う会様

金五、〇〇〇円（計二回）
細井　正平様

金三、〇〇〇円（計三回）
壬生町陶芸クラブ様

金五、〇〇〇円
壬生町日光彫・刻字彫様

金一、五〇〇円　佐藤　トキ様

金一二、八七〇円（計二回）
壬生地区配食グループ・婦人会様

金七、八〇〇円
トータルアーチスト様

金二五、九三一円（計二回）
栃木県歌謡協会県南支部様

金三〇、〇〇〇円いずみ書房様

金二、〇〇〇円（計三回）
壬生町母子寡婦福祉会様

金三、四八〇円（計二回）
小野　郁様

金一〇、〇〇〇円（計二回）
ゆうがおの会様

金五、〇〇〇円（計五回）
ガールスカウト栃木県第18団様

金一〇、〇〇〇円（計六回）
虹の会様

金一〇、〇〇〇円（計二回）
南犬飼地区配食グループ様

金六、〇〇〇円（計一八回）
渡辺岩五郎様

金六、〇〇〇円（計二回）
渡辺ホはる様

金一〇、〇〇〇円
リハビリ友の会一同様

金二、五〇〇円（計二回）
壬生町身体障害者福祉会様

金三、〇〇〇円（計一三回）
水野　シナ様

金五、〇〇〇円　綱島　康博様

ぬいぐるみ冒険ミュージカル たから島

期　日　12月16日(日)
（開場）午後１時
（開演）午後１時30分
会　場　壬生中央公民館大ホール
入場料　800円（全席自由席）
（こども・おとなとも同じ料金、３才以上は有料です。）
入場券の取扱い先　壬生中央公民館　稲葉、南犬飼出張所
問合せ先　壬生中央公民館☎82－0108(代)

十一月の納税等

●国民健康保険税（五期）
●国民年金（八期）
（納期限十一月三十日）
納期限間際には、納付窓口が大変混み合います。早めに納付しましょう。

まちのうごき

10月１日現在

総人口	39,677人（±0）
男	19,611人（－3）
女	20,066人（＋3）
世帯数	11,453世帯（＋1）

（　）内は前月比